

【地域活性化総合特区】競争力と持続力を持つ交流6次化モデルの構築特区

〔山梨県 南アルプス市〕

【目標】

○交流6次化による競争力と持続力のある『農業空間と地域空間』の創造・展開・継承を図る地域活性化モデルの構築

【取組概要】

○規制の特例措置や財政、金融上の支援措置を総合的に活用しながら、地元農産物の生産・加工・販売の一体化、農業と観光との融合、生産性や販路拡大等による「6次産業化」の創出を図る。

○都市農村交流、移住・定住情報の受発信、周遊滞在型観光の定着、自然体験や環境教育等の「交流移住策」の創出を図る。

○南アルプスの玄関口となる「中部横断自動車道南アルプスIC周辺」に“6次産業化×交流移住策”のハブ機能を有する「地域資源を活用した新産業拠点＝フモット南アルプス」を展開し、参入企業と地域活動との多様な連携を促すことで、地域のブランド力を高め、地域経済を活性化させ、持続可能なまちづくりに繋げていく。

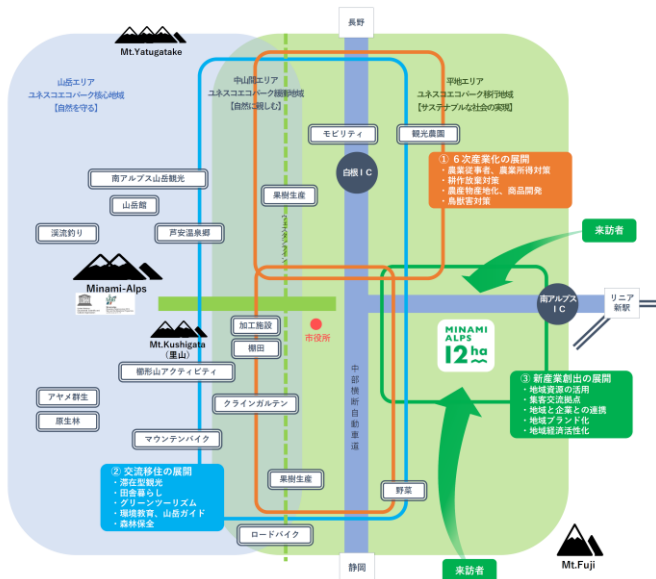
【金融支援措置（利子補給金）を活用した主な事業】

○民間活力の導入による集客交流施設の整備により、「地域資源を活用した新産業拠点」の創出を図る。 ※これまでの活用実績：1件

【規制の特例措置を活用した主な事業】

○特産酒類（果実酒）の製造事業の特例措置により、地域の特産物（ぶどう・りんご・もも・すもも・キウイフルーツ・柿）を活かした小規模ワイナリーの参入を促し、「6次産業化」の創出を図る。

特区の展開イメージ



新産業拠点のイメージ

